

2025年日本平和大会実行委員会ニュースno.4



発行:2025年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2025/6/06
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

企画の内容等を話し合い、第4回実行委員会開催 チラシと学習パンフ発行のテンポなどを確認

5日、オンライン併用で第4回実行委員会を開催。12団体・愛知実行委など20人が参加しました。

はじめに東森安保破棄中央実行委事務局長が大会をめぐる情勢にふれたあいさつをし、矢野愛知県実行委事務局長が愛知の取り組み状況などを報告。千坂日本平和委事務局長が、企画の具体化の検討、ビラと学習パンフの作成テンポなどについて提案し、討議しました。



東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ(要旨)

国会は終盤に近づき、内閣不信任案提出をめぐる情勢などがニュースになっています。

与党少数という情勢は、「国会の風景が変わった」と言われる状況をつくりましたが、「戦争国家づくり」にかかわる「ネット監視・サイバー先制攻撃法案」は部分的な修正が行われ、共産・れいわのみの反対で成立し、学術会議解体法案も厳しい状況にあります。今年度予算の防衛費8兆7005億円の削減も簡単ではありません。根本には、安全保障は日米同盟が基本という野党の状況が大きな壁になっているといわざるを得ません。

目前に迫った都議選、引き続き参議院選挙のたたかいを通して、金権腐敗、国民犠牲の政治の転換とともに、日本の政治を変える運動の真ん中に、アメリカ言いなりの大軍拡政治ノーの旗をしっかりと立て、くらしを守る要求と固く結んだたたかいをさらに強めることの重要性を痛感します。

トランプ政権は、長年にわたってアメリカが主導してきた貿易と関税のルールを一方的かつ乱暴に破壊しようとしており、日本だけの救済を求める追従的な交渉ではなく、正面からの批判と国際的共同によって公正なルールを追及すべきです。トランプ政権は、関税問題にかかわらせて、日本に「安保ただ乗り論」に基づき、在日米軍経費のさらなる負担増や米国製兵器の購入増を求めています。軍事的に「アメリカ言いなり」の姿勢では、関税問題で公正なルールを求めることはできません。

自民党の西田昌司議員が5月に沖縄で、沖縄戦に関する歴史を捻じ曲げ、沖縄県民を侮辱する発言を行いました。これは、旧日本軍を美化することで戦争への地ならしを行なおうとするものです。議員が責任を取るまで追及しなければなりません。

今日の実行委員会では、全体会・分科会などの持ち方などについて、全国の参加者に知らせる内容を固めていくことが議題です。情勢を切り開くたたかいを進めながら大会準備を進めることになります。みなさまのご奮闘をよろしくお願いします。

第4回実行委員会で確認した主な内容

1、大会日程の一部変更

10月25日 全体集会～15:00 **16:00**～愛知から見る平和の今～学びと交流のつどい

*16:30 開始を30分繰り上げました。

2、国際シンポジウム（10/18 オンライン）のパネリストの招請方向ほか

■テーマ：トランプ政権と問われる世界の進路

いまこそ軍事同盟NO！ 核兵器のない国連憲章に基づく平和秩序を（仮）

■パネリスト候補

・日本（石川康宏・神戸女学院大学名誉教授）

・NO！NATO ネットワークのドイツ ・アメリカ ・韓国 ・ベトナム

■参加費 1 アクセス 1,000 円

■参加目標 500 アクセス

3、10/24 オプショナル企画「愛知県の軍需産業視察（仮）」（主催・愛知県実行委員会）

▼行程 集合・出発 13 時～@名鉄金山駅 ➡ 県営名古屋空港（展望デッキから航空自衛隊小牧基地、三菱重工小牧南工場） ➡ 豊山町社会教育センターにて座学「愛知県内の軍需産業と大軍拡の今」 ➡ 三菱重工小牧南工場でコール ➡ 三菱重工小牧北工場（車窓より見学） ➡ 17 時半金山駅着・解散

▼定員 約 130 人 ▼参加費 1 人 3,500 円

4、大会 1 日目（10/25）16：00～「愛知から見る平和の今～学びと交流の集い」テーマ案

(a) 「愛知から見える大軍拡と戦争動員体制」

*「 」が確定しつつあるテーマです

(b) ドキュメンタリー映画『医の倫理と戦争』上映会と交流

(c) 愛知・名古屋の空襲と戦跡

(d) 地方自治と平和行政

(e) 「命と暮らしを脅かす気候危機～『あのときなぜ止めなかったのか』と言われなかったために～」

(f) 「基地のある暮らし、基地のある福祉～沖縄から考える～」

(g) 戦争の実相を語り継ぐ

(h) 「東海 4 県の軍事基地・戦争拠点化の動きと運動の交流」（仮） ★新しい企画です

5、大会 2 日目（10/26）午前の分科会テーマ案 ★6/18までにタイトルを確定

(1) 「戦後 80 年 — 平和な北東アジアを実現するための日韓市民の交流」（日朝、平和委）

(2) 大軍拡・戦争国家づくりストップの運動の交流（安保破棄実行委、全労連）

(3) 軍事費削って暮らし、医療、教育にの運動の交流（全商連、医労連、生協労連）

(4) 「若者を戦場に送るな — 自治体や教育現場に浸透する自衛隊募」（自治労連、全教、平和委）

(5) 「被爆 80 年から 2026 年 NPT 再検討会議へ 被爆国から行動を」（原水協、民医連）

(6) 「核兵器禁止を目指す運動に女性はどう力を発揮するか～戦後 80 年とジェンダー主流化の歩み」（新婦人、平和委）

(7) 台湾の平和運動家たちとの交流（日中、AALA）

(8) 入門分科会

*「 」が確定しつつあるテーマです

6、大会 1 日目（10/25）19：00～ 青年のつどい「ピースシャウト」

・名称：「ピースシャウト」 ・時間：19 時～20 時 30 分

・会場：「労働会館」東館（金山駅より徒歩 10 分）

7、閉会集会とパレード 会場は 7/1 抽選で愛知県実行委が確保します。

8、開催要項（1 次）を、実行委員会で確認された内容で事務局団体が作成し発表する

9、ビラを 7 月はじめに発行する

10、学習パンフは、原水爆禁止世界大前に発行する

11、次回実行委員会 6 月 26 日 10 時～オンライン併用